

2 高等学校

初任者は、1年間、学級や教科等を担当しながら、指導教員等の指導・助言を受けるとともに、総合教育センター等において研修するものとする。

また、その後2年目・3年目においても、校内研修を継続するとともに、校外研修として総合教育センター等で研修を重ねるものとする。

初任者研修計画は、初任者研修実施要領第6の規定により、2年目・3年目研修計画は2年目・3年目研修実施要領第5の規定により、次のとおりとする。

1 研修内容

(1) 初任者研修

ア 校内研修（年間150時間程度（教職大学院修了者は、年間75時間程度））

初任者が所属する学校において作成する年間指導計画に基づき、授業等に関する具体的な研修を行うとともに、校務処理や学校教育全般について実務に即した研修を行う。

イ 校外研修（年間15日間）

社会人としての心構え、サービス、学習指導、生徒指導のうち基礎的理論や、指導法及び実技に関する研修を行う。

(7) 県教育委員会研修（授業研修）（年間5日間）

(4) 総合教育センター研修（年間10日間）

(2) 2年目研修

ア 校内研修（年間10時間程度（授業研修（年間5時間程度）及び自己研修（年間5時間程度））

所属する学校において、初任者研修の成果を踏まえ、より実践的な授業研修及び自己研修を行う。

イ 校外研修（年間2日間）

教科指導、復興・防災教育、学校安全、キャリア教育に関する研修、自己研修の取組の交流等を行う。

総合教育センター研修（2日間）

ウ 2年目フォローアップ研修（年間1日間）

指導主事・研修指導主事等が所属校を訪問し、授業等に関する具体的な研修を行う。

(3) 3年目研修

ア 校内研修（年間10時間程度（授業研修（年間5時間程度）及び自己研修（年間5時間程度））

所属する学校において、2年目研修の成果を踏まえ、より実践的な授業研修及び自己研修を行う。

イ 校外研修（年間3日間）

教科指導、ホームルーム経営、生徒理解に関する研修、自己研修の取組の交流等を行う。

総合教育センター研修（3日間）

2 研修全体計画（別紙1 P29）

3 初任者研修年間計画

校内研修（年間150時間程度（教職大学院修了者は、年間75時間程度））

校長は、教員研修計画【基本研修内容】（別紙2 P30～31）を参照の上、原則、週時程に位置付けて行う年間150時間程度（教職大学院修了者は、年間75時間程度）について、初任者研修年間指導計画書（様式1）を作成し、実施する。

校外研修（年間 15 日間）

研修内容は教員研修計画【基本研修内容】（別紙2 P30～31）を参照

県教育委員会研修（年間 5 日間）

- (1) 授業研修前期（3日間）会場：教科別に各学校
- (2) 授業研修後期（2日間）会場：教科別に各学校
所属校とは異なる学校において講義、演習及び授業参観を通して、学習指導要領や「いわての授業づくり3つの視点」における授業改善の在り方を理解し、学習指導力の向上を図る。

総合教育センター研修（年間 10 日間）

- (1) センター研修Ⅰ（3日間）
 - ア 岩手の教育が目指す方向性について理解し、教員としての使命感と幅広い知見を得る。
 - イ 学習指導や各領域の指導の在り方について、その基本的な内容を習得するとともに、指導内容等について理解し、教員としての資質の向上を図る。
 - ウ 学習指導における生徒理解の在り方について、その基本的な内容を理解し、ICT活用を含めた学習指導力の向上を図る。
- (2) センター研修Ⅱ（4日間）
 - ア 学習指導や各領域の指導の在り方について、その基本的な内容を習得するとともに、指導内容等について理解し、教員としての資質の向上を図る。
 - イ 学習指導の在り方について、継続的・発展的な研修を行い、ICT活用と学習評価の進め方について理解し、指導力の向上を図る。
 - ウ 生徒指導の意義と進め方について理解し、生徒指導力の向上を図る。
- (3) センター研修Ⅲ（3日間）
 - ア 社会人としての心構えを確かなものとし、コンプライアンス、メンタルヘルス、感情のコントロール等の教員としての資質の向上を図る。
 - イ 教科指導における生徒のICT活用の在り方や各領域の指導の在り方について理解し、実践的な指導力の向上を図る。
 - ウ 自己研修の意義と方法について理解し、学び続ける教師としての実践力の向上を図る。

4 2年目研修年間計画

校内研修（年間 10 時間程度）

校長は、教員研修計画【基本研修内容】（別紙2 P30～31）を参照の上、授業研修（年間5時間程度）と自己研修（年間5時間程度）について、2年目研修年間研修計画書（様式5）を作成し、実施する。

研修項目	
・校内授業研修（年間5時間程度） ①教材研究 1時間程度 ②指導案作成、検討 1時間程度 ③研究授業 1時間程度 ④授業研究会 1時間程度 ⑤振り返り 1時間程度	・自己研修の推進（年間5時間程度） ①Plan（テーマ決定等） 2時間程度 ②Do（実践） 随時 ③Check（分析及び考察等） 3時間程度 ④Action（改善） 随時

校外研修（年間 3 日間）

研修内容は教員研修計画【基本研修内容】（別紙2 P30～31）を参照

総合教育センター研修（2日間）

- ア 教科指導における学習内容の系統性・発展性、生徒のICT活用の在り方、学習者中心の授業実践・授業改善の視点について理解を深める。
- イ 事件・事故災害発生時の危機管理、「いわての復興教育」の在り方、キャリア教育の現状と課題について理解する。
- ウ 自己研修の取り組み方に対する視野を広げるとともに、学び続ける教師としての実践力の向上を図る。

2年目フォローアップ研修（1日間）

授業実践を基に、教科の特性に応じた教科指導法の工夫や、わかる授業を構想するための教材研究の進め方について理解を深める。

5 3年目研修年間計画

校内研修 (年間 10 時間程度)

校長は、教員研修計画【基本研修内容】(別紙2 P30～31)を参照の上、授業研修(年間5時間程度)と自己研修(年間5時間程度)について、3年目研修年間研修計画書(様式7)を作成し、実施する。

研修項目	
・校内授業研修(年間5時間程度)	・自己研修の推進(年間5時間程度)
①教材研究 1時間程度	①Plan (テーマ決定等) 2時間程度
②指導案作成、検討 1時間程度	②Do (実践) 随時
③研究授業 1時間程度	③Check (分析及び考察等) 3時間程度
④授業研究会 1時間程度	④Action (改善) 随時
⑤振り返り 1時間程度	

校外研修 (年間 3 日間)

研修内容は教員研修計画【基本研修内容】(別紙2 P30～31)を参照

総合教育センター研修 (3日間)

- ア 教科指導における生徒のICT活用や、指導と評価の一体化の在り方について理解を深める。
- イ ホームルーム経営や生徒理解について、基本的な内容を習得し、教員としての資質向上を図る。
- ウ 命と人権を守る生徒指導の在り方について理解を深める。
- エ 自己研修のまとめとして実践発表と協議を行い、今後の自己研修の方向性を明確にする。

6 研修の運営

- (1) 校内研修
当該校が計画し、実施する。
- (2) 校外研修
 - ア 県教育委員会研修
学校教育室が計画し、実施する。
 - イ 総合教育センター研修
総合教育センターが計画し、実施する。

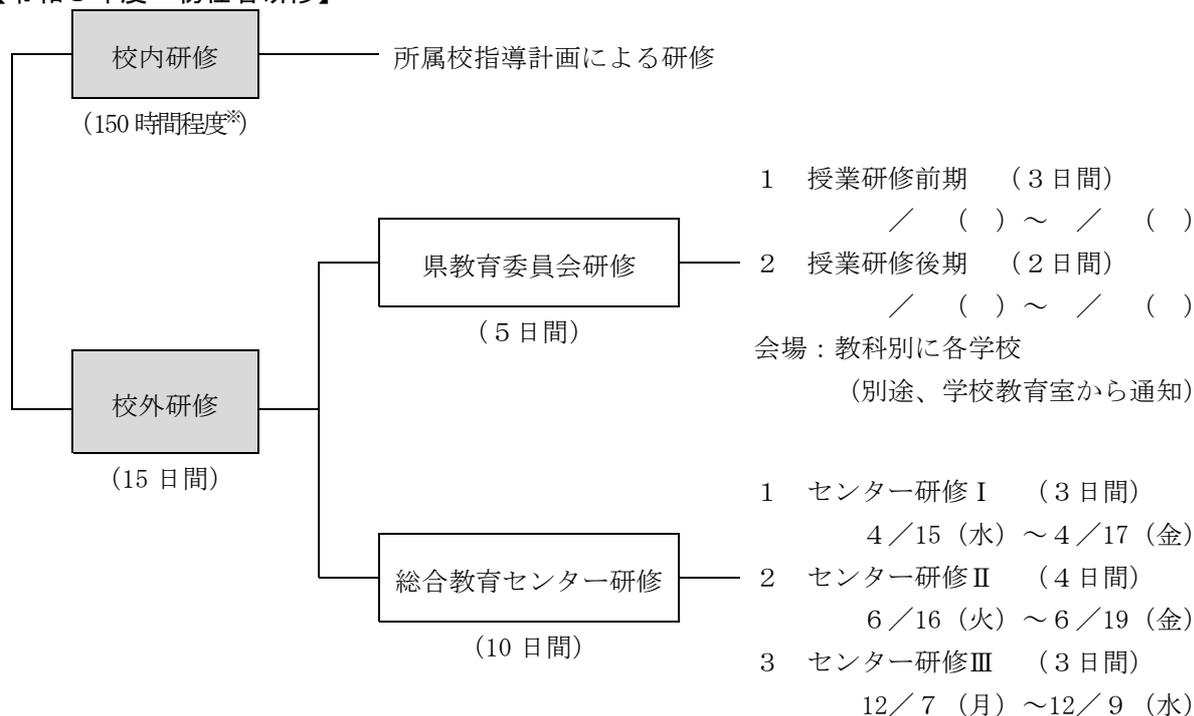
7 計画書及び報告書の提出

- (1) 校長は、初任者研修年間指導計画書(様式1)を作成し、県教育委員会に提出するものとする。また、研修終了後は実施結果を取りまとめて初任者研修年間指導報告書(様式1)に成果と課題を記入し、県教育委員会に提出するものとする。
 - ア 毎年度5月末までに提出するもの
初任者研修年間指導計画書(様式1)
 - イ 毎年度2月末までに提出するもの
初任者研修年間指導報告書(様式1)
- (2) 校長は、2年目研修年間研修計画書(様式5)を作成し、県教育委員会に提出するものとする。また、研修終了後は実施結果を取りまとめて2年目研修年間研修報告書(様式5)に成果と課題を記入し、県教育委員会に提出するものとする。
 - ア 毎年度5月末までに提出するもの
2年目研修年間研修計画書(様式5)
 - イ 毎年度2月末までに提出するもの
2年目研修年間研修報告書(様式5)
- (3) 校長は、3年目研修年間研修計画書(様式7)を作成し、県教育委員会に提出するものとする。また、研修終了後は実施結果を取りまとめて3年目研修年間研修報告書(様式7)に成果と課題を記入し、県教育委員会に提出するものとする。
 - ア 毎年度5月末までに提出するもの
3年目研修年間研修計画書(様式7)
 - イ 毎年度2月末までに提出するもの
3年目研修年間研修報告書(様式7)

(別紙1)

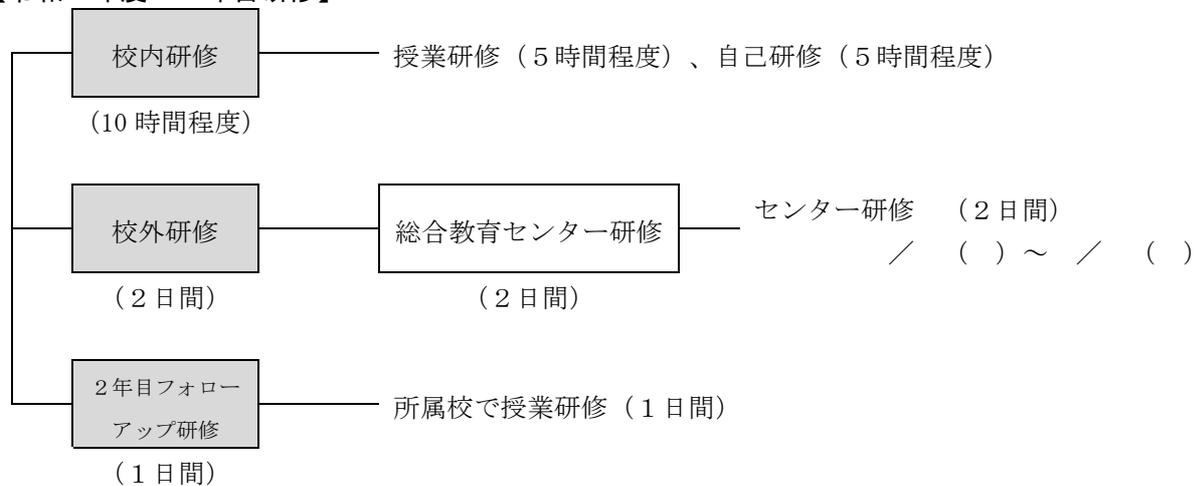
高等学校研修全体計画

【令和8年度 初任者研修】



※教職大学院修了者は、年間75時間程度

【令和9年度 2年目研修】



【令和10年度 3年目研修】

